



千塚小学校

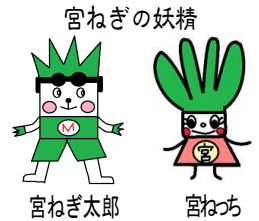
学校だより



ふるさと

令和3年11月号

栃木市立千塚小学校
校長 渡邊 紀子



本県における「県版まん延防止等重点措置」が、10月14日（木）をもって解除され、警戒度もレベル3からレベル2に引き下げられ、現在はレベル1になりました。油断できない状況ではありますが、子どもたちは業間活動や縦割り班での清掃といった「当たり前」の学校生活に、少しずつ戻ってきています。

さて、この「当たり前」という言葉ですが、その反対語をご存じでしょうか。「当たり前」の逆ですから、「当たり前ではないこと」です。実は、「当たり前」の反対語は、「ありがとう」なのです。「ありがとう」という言葉は、日本の古い言葉「有り難し」、すなわち滅多にないという意味からできた言葉です。誰かに親切にしてもらったときなどには、「この親切は、滅多にないほどうれしいものです」という気持ちで「ありがとう」というのだそうです。コロナ禍で、当たり前だったことの大切さを改めて感じる毎日だからこそ、「ありがとう」の言葉もさらに重みを増しているように感じます。今を「当たり前」ではなく「ありがたい」と感じられる人、そして、人を喜ばせることができる人こそが、幸せになれるのだと思います。これは、(株)サガミ社長、水沢 洋氏の「ありがとうの反対語」という文章に基づいて書かせていただきました。子ども同士、子どもと教職員、そして学校・家庭・地域の間で、「今が当たり前でなく、ありがたい」と感じる価値観が共有され、「ありがとう」の言葉が橋渡しとなり、心でつながる「チーム千塚」でありたいと思います。

ふるさと学習

地域に目を向け、ふるさとのよさを知る⑩/12

6年 千塚小の歴史



10月6日（水）に、本校の卒業生で、株式会社代表取締役 様から講話をいただきました。昭和16年に、様が千塚小へ入学してからの学校生活のお話は、大変興味深いもので、6年生は、現在の学校生活と比べながら、熱心に聞いていました。また、質問にも丁寧に答えていただき、貴重な学びの機会となりました。



【6年生の感想】
戦争中と比べると、今、私たちが過ごしている学校生活はとても充実していて、幸せなんだと思いました。

今では考えられないことは、男子同士で、相手をアメリカ軍だと思ってたたき合うことです。辛かっただろうな、と思いました。戦争中のお話を聞いて、たくさんの方がつらい思いや怖い思いをしたことが分かりました。もう2度と戦争を起こしてはいけないと改めて思いました。

今、幸せでいられるのは、戦争という日本にとって大きな失敗のようなものは、未来への大きな経験だったと思いました。今の日本に生まれてこられて幸せだと思いました。

大変な中で、修学旅行に行ったと聞いて、「私たちも負けていられないな」と思い、前向きな気持ちになりました。



今は、男女一緒に生活していますが、昔は別に過ごしていたことが分かりました。「男の方が女より先」というのが、気になりました。

5年 社会科見学

10月12日（火）に、5年生は千塚産業団地にある「真岡製作所栃木千塚工場」に見学に行きました。鋳鉄品：ブレーキキャリパー等、自動車の重要保安部品を製造している工場です。



社会科で学習した自動車の部品をつくることなど、スライドを使って分かりやすく説明してくださいました。工場の中は、驚きの連続で、水のようにどろどろに溶けて流れている鉄や、鋳型を作るための砂、様々なロボットなどを実際に見ることができました。また、できあがった部品を触らせていただきました。安全対策としての防護メガネや、説明を聞きやすくするためのイヤホンなども用意してください、お心遣いに感謝しています。アシストネットから、2名の方が引率ボランティアに来てくださり、徒歩での行き帰りも安全に行ってくることができました。多くの方の協力で、たくさんのお話を学ぶことができました。ありがとうございました。



お土産にいただいた鋳物



3年 社会科見学



10月21日(木)に、3年生は「ヤオハン大森店」へ徒歩で社会科見学に行きました。お買い得商品や陳列の工夫などについて、丁寧に説明していただきました。

バックヤードの見学では、青果作業室で、実際に果物を切り分け、パック詰めをしている様子を見せていただきました。また、鮮魚作業室では、冷凍室の室温の低さに子どもたちはとても驚いていました。ヤオハン大森店の皆様、ありがとうございました。

1年 校外学習



夏の公園



秋の公園

10月25日(月)に、1年生は秋を探しに、「なかよし公園」に行きました。6月にも訪れていますが、同じ場所でも、季節によって公園の様子が変化していることに、気付くことができました。公園では、落ち葉や木の実、生き物をたくさん見つけました。また、遊具で遊んだり、クラス全員で鬼ごっこをしたりして楽しい時間を過ごすことができました。

よいとこ見つけ ありがとうの友達

ありがとうの木・ならではの教育④/12



ありがとうのお友達(11月)

11月の「ありがとうのお友達」を、給食時の放送で紹介しました。カードには、友達の「よいところ」や「ありがとう」がたくさん書かれています。これからも、目指す児童像「互いのよさや努力を認め合い、思いやりのある子」を育てていきたいと思ひます。

6年 栃エプログラミング教室

ICT機器の活用・学習への意欲向上⑥/12



10月29日(金)に、栃木工業高校の皆さんにお越しいただき、栃木工業高校が開発した「こどもパソコン スカイベリージャム」を使ってプログラミング学習を行いました。自分が考えたプログラムによってロボットカーを動かす楽しさは、未来へつなげる貴重な経験となったと思ひます。栃木工業高校は、「第70回読売教育賞」を受賞されました。おめでとうございます。



ありがとうございます

宮町の(有) [] 様のご厚意により、隔週4枚1組の「朝小ニュースあれこれ」並びに専用掲示板を寄贈していただき、1階談話コーナーに掲示して活用させていただいております。立ち止まってニュースを読む子どもたちの姿を見かけます。



吹上地区まちづくり協議会 様には、正門横のプランターにパンジーを植えていただきました。



今後の予定



- ・11月17日(水) 3年親子活動(さしも草染め物体験)
- ・11月30日(火) 5年親子活動(勾玉づくり)
- ・12月 8日(水) 4年熱気球教室:午前
- ・12月15日(木) 1年親子活動(歯・給食試食会)
- ☆持久走大会に向けて、業間に4分間走を始めました。
- ☆11月 1日から、縦割り班清掃を再開しました。
- ☆5年生と6年生(昨年度できなかった)の調理実習(ご飯・みそ汁)を行いました。学習内容の学び残しや未履修等が生じないように、感染対策を講じながら進めています。

校内読書週間 10/25~10/29

家読習慣の育成・間く読書⑦/12



読書感想文の朗読



ガラポン抽選会



教職員による読み聞かせ

図書委員会によるビブリオバトル(図書集会)



おすすめの本のPOP作り

皆川城内町の [] 様 ([] 店) から、「スマホをひろったにわとりは」の本を寄贈していただきました。 [] 様は、この本を読まれて感銘を受け、栃木市西部地区の各小学校への寄贈を決められたそうです。



【あらすじ】 主人公のにわとり(ポップコーン)は、馬小屋で不思議な光る箱(スマホ)を見つけます。その箱には、次々とメッセージが届きました。夢中になってしまったポップコーンは、メッセージを送ってくる友達?と会う約束をしましたが、やって来たのは…。SNS犯罪の怖さと本当の友達について考えることができる、ちょっとおかしなおとぎ話です。

千塚小・ホームページスマホサイト

